



労働組合の中にもっと“女性の視点”を!

—「臨時地方委員会」で新副事務局長〈女性代表・専従〉を選出—

連合鳥取臨時地方委員会



参加者全員でサイレントによる「団結がんばろう!」
写真上(演壇前)田中穂会長

挙手で承認する地方委員

連合鳥取は2月28日(月)、白兎会館(鳥取市)において「臨時地方委員会」を開催し、「女性代表の副事務局長(専従)に寺田真里さん(全労金)を選出する」「役員欠員補充」と「予算の補正」が満場一致で承認されました。

井上匡副会長の開会あいさつに続き、議長に今井智子地方委員(UAゼンセン)を選出し、その後、田中穂会長のあいさつの後、早速、議事に入りました。

【第1号議案: 役員欠員補充について】

江口真也事務局長より「第29回定期大会」の役員改選時に欠員となっていた「副会長(男女平等推進特別枠)」と「副事務局長(女性専従者)」のうち、「女性専従の副事務局長」の派遣について、当該産別・会社と合意に至った経緯説明と、役員選出について提案を行いました。

【第2号議案: 予算の補正について】

江口事務局長が「3月より専従役員が派遣されることによる経費(派遣役員還元金・備品費・通勤費等)が発生するため、会計年度末である8月までの補正予算を計上した」と提案し、賛成多数で承認されました。

井上匡副会長の開会あいさつに続き、議長に今井智子地方委員(UAゼンセン)を選出し、その後、田中穂会長のあいさつの後、早速、議事に入りました。そして、副事務局長に立候補した寺田真里さん(全労金)が満場の拍手により信任されました。

よろしくお祈りします



副事務局長
寺田 真里

この度、副事務局長に承認されました。このような大役に承認していただきましたこと、身が引き締まると同時に、私自身大変な重責を感じております。

今後は、役員としてたくさんの知識と経験を積んで、みなさまのお役に立てるよう努力してまいります。◇3月1日より連合鳥取事務局にて勤務します

「臨時地方委員会」参加者

◇地方委員定数/45人 ※2/3の出席で成立=30人以上
 出席地方委員合計/44人
 〈当日出席地方委員/29人+書面議決地方委員/15人〉
 ※うち女性7人・女性参画率15.9%

連合鳥取は2月28日(月)、白兎会館(鳥取市)において「臨時地方委員会」を開催し、「女性代表の副事務局長(専従)に寺田真里さん(全労金)を選出する」「役員欠員補充」と「予算の補正」が満場一致で承認されました。

2022春季生活闘争 特集

—未来をつくる。みんなでつくる。—

連合鳥取は、例年2月初旬に「春季生活闘争開始宣言集会」を開催して「開始宣言」を確認し、連合鳥取としての春季生活闘争をスタートしています。

本年は「オミクロン株」の感染拡大により、「鳥取県版新型コロナ警報特別警報」が全県に発令されるとともに、新規陽性者数が拡大傾向となり感染経路が不明である市中感染が増加しているような厳しい状況が続きました。

そこで、連合鳥取は組合員自身、大切な人、職場・地域を守るために、2月5日(土)、ハワイアロハホールで予定していた「連合鳥取2022春闘開始宣言集会」の中止を決定し、本年は2月7日(月)の「2022年鳥取県経営者団体・連合鳥取意見交換会」の開催をもって今季2022春季生活闘争をスタートすることとしました。

鳥取県経営者団体との意見交換会を開催

2月7日(月)、2022春季生活闘争について、鳥取県経営者団体(7人)と連合鳥取(10人参加)による意見交換会を開催しました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、Webを併用しての開催となりました。

連合鳥取の2022春季生活闘争方針を説明したのち、「賃上げ」や「雇用の安定確保」、「すべての労働者の処遇改善」など主要項目についての意見交換を行い、それぞれの立場での見解を述べながらも、理解を深める機会となりました。



<連合鳥取 参加者>
田中穂会長 北畑仁史副会長 井上匡央副会長
山崎睦副会長 箕憲之介執行委員 矢田仁志執行委員
垣屋克吉執行委員 江口真也事務局長 河村正之副事務局長
吉田正副事務局長

地域協議会「単組代表者会議」で方針の浸透を図る!

連合鳥取「2022春季生活闘争方針」の周知を目的に、地域協議会主催の「単組代表者会議」を開催しました。

連合鳥取の江口真也事務局長がパワーポイントを使って、連合鳥取の方針を示し、続いて、各地域協議会の事務局長が具体的な今後の取り組み内容やスケジュール等について説明しました。最後に、それぞれの議長の「団結がんばろう!」のコールに対し、コロナ禍での開催のため、参加者はサイレントで拳をあげました。

東部地域協議会も2月17日(木)に予定していましたが、大雪警報のため中止し、全構成単組に春闘方針や白書などを送付しました。

中部地協 <28人参加>

2月15日(火) / 倉吉体育文化会館



方針説明を熱心に聞く参加者



「団結がんばろう!」する盛山修議長

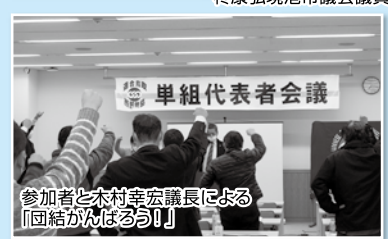
西部地協 <32人参加>

2月16日(水) / 米子コンベンションセンター



方針を説明する江口事務局長

当選のお礼あいさつにかけた
柘康弘境港市議会議員





参加者と木村幸宏議長による「団結がんばろう!」

知っていますか? 「3.8国際女性デー」

3月8日は「国際女性デー」です。

1857年3月8日、ニューヨークの被服工場働く女性達が低賃金・長時間労働に抗議を行ったことが「3.8国際女性デー」の起源です。

その後、国連においてこの日は、「女性の権利と平等のために闘う記念日」と位置づけられ、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と女性の尊厳、人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、今も世界各国で様々な行動が展開されています。



<連合鳥取の取り組み紹介>

■連合鳥取女性委員会「3.8 国際女性デー学習会」

- 日時 3月5日(土) 10時30分開会
- 場所 エキパル倉吉 多目的ホール
- 内容【Web講演】

演題「労働組合活動で経験したこと、感じたこと」

講師 連合ジェンダー平等・多様性推進委員会 委員長 山中しのぶさん

※産別を通じて案内しています

Information

第93回鳥取県メーデー大会

メーデースローガン

一人ひとりが尊重される
多様性を認め合う社会をめざし
みんなが輝く未来をつくらう!

- ◇開催日 2022年4月29日(金・祝)
- ◇開催地 県内3会場
中央大会=西部
東部大会
中部大会

現在、各地域協議会を中心に開催方法・内容等企画中。決定次第、ご案内します。



米子市議会議員選挙 推薦決定

連合鳥取は、「第3回執行委員会(2月21日開催)」において、米子市議会議員選挙(5月29日告示・6月5日投票)に下記の予定候補者を推薦することを決定しました。

組合員のみなさまはもとより、ご家族、ご友人、知人のみなさまからのご支援をよろしくお願ひします。

(告示日時点の年齢/経歴/推薦依頼組織)



安達 卓是
(あだち たかし)さん
(71歳/現2期/
自治労)



中田 利幸
(なかだ としゆき)さん
(59歳/現5期/
JR連合)



伊藤 ひろえ
(いとう ひろえ)さん
(62歳/現5期/
立憲民主党)

境港市議会議員選挙 結果

2月6日(日)投票開票で実施された境港市議会議員選挙で、連合鳥取が推薦した柗 康弘さんは当選されました。

連合鳥取推薦候補者のためご尽力いただきましたみなさんに心より感謝申し上げます。

★境港市議会 **当選** **柗 康弘**(立憲民主党) 784票



お疲れさまでした
松本 熙(ひろし)【日教組】さん
勇退される

2006年より4期16年にわたり、境港市議会議員として、連合鳥取とともに活躍されてこられた松本熙さんは、この度、勇退されました。

西部地協発／青女活動を通じてすべての働く仲間とともに

—青女フォーラム「第8回定期委員会」開催—

2月18日(金)、米子コンベンションセンターにて、「第8回青女フォーラム定期委員会」を開催しました。

来賓として、連合鳥取西部地域協議会の木村幸宏議長、遠藤史章事務局長、米子市議会議員3人の出席を迎え、代表として木村議長にあいさつをいただきました。また、米子市議会議員の中田利幸議員、伊藤ひろえ議員、安達卓是議員を紹介し、5月29日の米子市議会選挙の全員当選に向けて全力を傾注することを全体の拍手で確認しました。

“青年女性活動を通じてすべての働く仲間ともに「私たちが必ずそばにいる存在」へ”のスローガンとともに、2021年度の総括と2022年度の活動方針が承認され、新役員についても満場一致で承認されました。

最後に、宮根拓也新委員長「団結がんばろう！」で定期委員会を閉会しました。



新役員名簿

役職	お名前<産別名>		
委員長	宮根拓也<JR連合>		
副委員長	木嶋泰治<UAセンセン>	森本和奏<全労金>	
事務長	長住幸恵<自治労>		
常任委員	永田 光<紙パ連合>	川島健太<JP労組>	桃野 瞳<運輸労連>
	亀尾史業<全国農団労>	二岡祐樹<電力総連>	佐々木健太郎<全水道>
	石田隼大<全国ガス>	松井靖志<JAM>	

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

毎年3月6日は「36(サブロク)の日」

働いている人に残業をさせるためには「36(サブロク)協定」の締結が必要です。この協定を結ばずに残業させることは法律違反です。

コロナオンライン！
開ったときは相談してね

パートや、派遣の方でも
残業に36協定は必要です！

職場に組合がなくても
労働相談は可能です！！

メール、電話、
チャットボットも

東部 新春・お年玉「ワークルールクイズ」に地協発／ご応募ありがとうございました！

東部地域協議会は中止した「旗開き」の代わりに、構成組織の商品・94品が抽選で当たる「新春・お年玉『ワークルールクイズ』」を企画し、組合員を対象に募集しました。

結果、380人の組合員より応募があり、8問のクイズのうち5問以上の正解を答えた348人を対象に、2月16日(水)、村尾昌彦議長と藤田浩二副議長が厳正なる抽選を行いました。





湯原俊二

りよくひ
-緑肥の想い-

今後も国会質問で追及し続けます

総務委員会で金子総務大臣に2回質問 <写真右>

- ▶ 安倍政権により所得格差だけでなく地域間格差も拡がり、全国の51.5%が過疎地域、過去最大になっています。地方の公立公的病院の今後は「再編ありき」ではなく、「自立した判断」で進めてほしいと考えます。
- ▶ 国・地方の財政危機は、政治のリーダーシップがないからであり、先送りは許されません。国は地方分権と良いながら、地方自治体の自立を妨げている実態が多いのが現状です。



予算委員会で末松文科大臣に質問 <写真下>

▶ 他の先進国と比較して、合計で20時間近く長くなっていますが、授業時間はあまり変わりません。多いのは事務作業と部活動などで、一方ではスキルアップの時間数は少なくなっています。教員にすべてを押しつけるのではなく、学校を子どもが育つプラットフォームととらえ、教員以外の事務作業支援員、学校図書館司書、ソーシャルワーカーなど外部人材を導入し、様々な専門職員と役割分担し教員の労働時間の軽減を図るべきと考えます。



添付資料/教員の一週間の労働時間の比較表(右)をご参照ください。

教員の仕事時間
OECD国際教員指導環境調査(TALIS)2018報告書をもとに作成

	国	「仕事時間」 (の合計)	指導(授業)	「一般的な事務業務」 (教員として行う建 設事務、教材作成 その他の事務業務 を含む)	職能開発活動	課外活動の指導
						「放課後の スポーツ活動 や文化活動」
中学校	日本	56.0時間	18.0時間	5.6時間	0.6時間	7.5時間
	日本(前回調査)	(53.9時間)	(17.7時間)	(5.5時間)	-	7.7時間
	参加48カ国平均	38.3時間	20.3時間	2.7時間	2.0時間	1.9時間
小学校	日本	54.4時間	23.0時間	5.2時間	0.7時間	0.6時間

湯原さんのホームページもご覧ください

湯原俊二

検索

QRコードからも
つながります▶



“ザ・議員”

あだち たかし 安達 卓是 米子市議会議員

12月議会で米子市役所の職場におけるハラスメント対応について質問をしました。

当局からは、

- ① 過去5年間で職員による相談窓口利用は、年間に数件である。
 - ② 指針と取り組みは、ハラスメントの防止等に関する要綱及びハラスメント防止方針を定めている。
 - ③ 2021年度は、全職員にパワハラ、セクハラ、マタハラなど様々なハラスメント防止のパンフレットを配布し、啓発を行った。
 - ④ ハラスメントを受けた側の心身のケアについては、所属長などからの声掛けなど気配りに努めている。
- と回答がありました。

市長からは、『「職場のメンタルヘルス」について、職員の総合的な健康管理にとって重要なテーマである。その原因は様々なものと認識しており、できる限り減らしたい』という回答がありました。



美保湾の松守り隊
(月2回程度)ボランティア活動
4~5年前植栽したものの枝切り作業

つがわ しゅんじ 津川 俊仁 北栄町議会議員

昨年の10月3日の投票票の北栄町議会議員選挙には大変お世話になりました。おかげをもちまして無事5回目の当選をさせていただき、さらに10月25日の臨時会で、議長の重責を担わせていただきました。「全国的にも立憲の町議会議員の議長就任は初めてではないか」との報道で驚きましたが、改めて身の引き締まる思いで過ごした、あつという間の4か月でした。

「公平公正な議会運営に努め、活発な議会により、議会の機能が十分発揮されるよう全力で取り組みます。また、議会日よりホームページなどを通して議会活動の見える化に努めます」という議長就任時の公約に基づいて日々奮闘しています。ホームページでご覧になれます。ご指導ご助言などいただければ幸いです。



議長としてホームページに掲載されています

かな? (ゆたか)



この原稿を書いている今、仕事場のホワイトボードには赤ペンで「中止」「延期」という文字が並んでいる。昨年の2月から3月はどうだったか手帳をめくると二重線で消された予定がなんと多かったことか。第3波から第4波の期間である▼そんなコロナ禍の休日、みなさんはどう過ごしたろうか? ステイホームで家に引きこもっているとストレスが溜まってきた。そんな昨年の4月、同僚が夫婦で低山登山をしていると聞いたもんだから、さっそく真似して、にわか山ボーイに変身した▼登山といっても主に大山周辺の散策と低山ハイキングだが、一人のんびり歩くと季節ごとに山の変化も実感でき、静けさに集中すると鳥のさえずりが心地いい。秋には30年ぶりに大山登山にも挑戦した▼今の時期は山はあきらめてウォーキングを楽しんでいて。「コロナうつ」も増えているようだが、外に出て4千歩程度歩くことで予防できるらしい▼コロナ禍だからこそ気づけた新たな過ごし方、みなさんも探してみたいかな?

てんぐとんぐとんぐとんぐ

